

## 一目惚れ、ダメ、ゼツタイ

三年 諏訪部 眺平

「その一目惚れ、迷惑です」

この言葉を見たとき、私ははつとした。実際、ペットを飼うことに決めた人は可愛いと思って決め、店員もそれを勧めることが多いのではないかと思っていたからだ。この言葉は、ACジャパンが命の大切さを飼う人にもお店の人にも考えてほしいという思いで作成されたメッセージの企画である。私はこれをテレビのコマーシャルで観た。可愛い仔犬を見つけて大はしゃぎする二人の客とその仔犬を飼うように勧める店員の姿があった。そこで一目惚れした二人に、仔犬が冒頭にあった「その一目惚れ、迷惑です」とささやく。今は、多くの人がペットを飼っている一方で、このようにペットをいわゆる「衝動飼い」した人もいるのではないかと思った。その多くの人はペットショップで一目見て可愛いと思っただけですぐに飼うことを決めてしまう。その中のすべての人ということができないが、一部の人は飼うことを途中でやめるという選択をするかもしれない。無責任な話だと思うが、実際にこの状況が起こっているからこのようなメッセージが呼びかけられていると思う。

私の家にも一匹の犬がいる。彼女は九年前にペットショップから我が家に迎え入れられた。当時我が家は一目惚れではなく、飼う前から家族で何度も話し合いを重ね、何度もペットショップに通って飼うことに決めた。そして、九年たった今でも家族の一員として大切に育てられており、これからもそれは変わらない。

しかし、今ではそんな家庭がすべてというわけではない。また、コロナ禍というのもあって、状況が悪化しているという。新型コロナウイルスの影響で家にいる時間が増え、ペットを飼う人が増えてきている。たしかに、ペットは生活をより楽しく豊かなものにしてくれるかもしれないが、ペットはものではないので、決して安易に飼うものではない。犬や猫の寿命は十年以上である。そのため、今は時間があつて十分に世話をすることができるとしても、犬や猫の寿命は十年以上である。そのため、今は時間と、もしかしたら世話ができなくなるということになるかもしれない。

一瞬の一目惚れでは将来のことまで考えることはできないだろう。よって、途中で飼うことをやめようという人が多いのだと思う。

このように、ペットは「一目惚れ」して家族に迎えるものではない。最後まで、家族の一員として過ごすことに責任を持たないのならば、飼うべきではない。私も、今飼っているペットを家族として一緒に時間を過ごしていきたいと思う。